

科目名	舞踊・演劇実習Ⅳ	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	西川 文紀	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

日本舞踊の習得と、伝統芸能の知識を得る。日本舞踊を習得する為に、着物の着付けを身につける。授業時間内は、着物での立ち振るまいを常に認識しながら動く。その上で、日本舞踊の振り付けや型を通して美しい立ち姿の習得と、表現の為の身体を追求する。また、着付けに於いては着付ける過程から片付け、舞扇や小道具の扱い方等の心遣いも合わせて学ぶ。その様な心遣い、挨拶等の礼節も共に学ぶ事で、日本文化への気付きや人間力の向上を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

実技中心の授業の為、着物用具等、忘れ物の無い事。
ただし、着物用具は間違えた物を購入される場合もあるので、初回に限り、全てが揃ってなくても良い。初回に指導致します。舞扇を持っていない場合は購入して頂きます。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス(講義の目標や内容)の確認。浴衣の着付け。
- 2回 扇子づかい。(丁寧に気持ちが行き届くように扱う事で、指先までの表現の向上を目指す。) 日本舞踊の基礎。(腰の安定や重心移動を意識しながら、立ち、座り、構え、スリ足)
- 3回 着物の着付け
- 4回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その1)
- 5回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その2)
- 6回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その3)
- 7回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その4)
- 8回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その5)
- 9回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その6)
- 10回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その7)
- 11回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その8)
- 12回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その9)
- 13回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その10)
- 14回 基本を身につけ、表現力の向上を目指し、課題演目を習得する。(その11)
- 15回 課題演目の発表。
課題演目は、履修人数や男女比などを考慮して、年度ごとに選定します。

参考：2016年度の課題演目は、端唄「茶摘み」「奴さん」「から傘」「八重一重」「松づくし」 / 長唄「藤娘」

＝成績評価の方法と評価の基準＝

課題演目を踊る期末の発表に積極的に参加し、出席状況、授業態度に問題がない場合はA評価。
欠席・遅刻が多い場合、習得への意欲が感じられない等授業態度に問題がある場合は、B評価とします。
授業態度にいちじるしい問題がある場合は、C・D評価もあります。

＝テキスト(必携)＝

特になし

